

平成24年度 看護職のWLB推進ワークショップ 参加施設募集！

看護職のワーク・ライフ・バランス推進ワークショップに参加して、 看護職の働き続けられる職場づくりに取り組みませんか？

看護職のワーク・ライフ・バランス（WLB）推進ワークショップとは…

看護職の働き方をなんとかしたい…。看護職が定着する組織にしたい！という病院が集まって、改善策を検討します。

- ◆ 看護職のWLBインデックス調査（N-WLBI）結果から、客観的に現状を把握。
- ◆ 日本看護協会のWLB推進プロジェクト委員や府内のWLB推進委員が、WLB支援のアクションプランづくりをサポートします。
- ◆ ワークショップの約4ヶ月後のフォローアップワークショップで、取り組みを再確認。
- ◆ ワークショップ終了後も、支援体制は継続。中・長期的な取り組みが可能。
- ◆ 今年度の参加施設からは、「施設外の人から意見やアドバイスを受ける機会を得て、とても有意義だった」、「インデックス調査により、自施設の強みと弱みが客観的に理解でき、取り組むべき課題が明確になった」、「ワクワクした気持ちを早くスタッフに伝えたい」といった感想がたくさん寄せられました。

ワークショップ参加は5施設まで！



参加施設
大募集！



主催：社団法人 京都府看護協会

開催日：・ワークショップ

平成24年8月下旬～9月上旬予定 2日間

・フォローアップワークショップ

平成25年1月下旬予定

会場：京都府看護協会研修センター

対象：看護職のWLB実現に向けて取り組みを予定している病院
既に取り組みを始めているが見直しを考えている病院

連絡先：京都府看護協会

TEL 075-723-7195

FAX 075-723-7272

E-mail sugita@kyokango.or.jp

ワークショップに関心をもたれた病院施設は、
お電話またはメールでまずはご一報ください。詳細をご説明します。

締め切り：平成24年1月30日

看護職のワーク・ライフ・バランス推進ワークショップのQ&A

Q1. 全部で何日間なのでしょう？

A. ワークショップは講義と個別ワーク、全体討議で2日間です。その後、約4ヶ月間、病院で取り組みを行い、1日のフォローアップワークショップがあります。その両方に参加する必要があります。

Q2. フォローアップワークショップって？

A. ワークショップを受けて、自分たちの病院で取り組んできたことを発表してもらい、それを全体で検討し、助言を得られます。WLB取り組みの方向性が間違っていないかなど、再確認できます。

Q3. 誰がワークショップに参加すると効果的ですか？ 複数人で参加してもよいのですか？

A. 複数人での参加も可能です。経営的なことも含めたアクションプランを考えますので、看護管理者の方、事務部長（人事・事務担当者）の方にそろって参加してもらえると効果的です。どうしても難しい場合はどちらかおひとりでも大丈夫ですが、ご自分の施設で取り組む時には組織内で連携しましょう。看護師長やスタッフの方が一緒に参加されるのも効果的です。

Q4. 2日間のワークショップでアクションプランが立てられるのでしょうか？

A. 最初の2日間のワークショップでは、まず、ワーク・ライフ・バランスについて正しく理解してもらうこと、『看護職のワーク・ライフ・バランスインデックス調査（N-WLBI）』結果から、自分の病院のWLB支援などの現状を正しく把握してもらうことが目標です。

もちろん、すでに先行してWLB支援に取り組んでいる病院では、アクションプランの見直しから入ってもらうことも可能です。参加施設が最大5施設なので、その病院の進捗度を確認しそれにあったペースでサポートします。

Q5. フォローアップワークショップまでの4か月だとあまり何もできないのでは？

A. それぞれの病院の進捗度に応じて進めます。たとえば、ワークショップで、初めてWLB支援について取り組み始めた病院であれば、職員のニーズ把握、経営層の理解を得る、支援体制の整備などが、4ヶ月間の目標になるでしょう。

フォローアップワークショップまでの4ヶ月間は、これから継続してWLB支援を行っていくための最初の一步と位置づけています。フォローアップワークショップ終了後も、いつでもご相談にのります。

Q6. どういった人たちがワークショップでサポートしてくれるのですか？

A. 京都府看護協会内に設置しているWLB推進委員会の委員や日本看護協会地域へのWLB普及推進プロジェクト委員の方たちです。各ワークショップには、そのうちの2~3人が参加します。また、協会内に地域におけるWLB推進の中心となる担当者がおりますので、ワークショップの期間外でも、相談・支援を受けることが可能です。

Q7. 『看護職のワーク・ライフ・バランスインデックス調査（N-WLBI）』は、誰が対象なのですか？

A. この調査は施設調査と個人調査から構成されています。

施設調査は、看護管理者が事務部長（人事・事務担当者）にご相談されながら回答されるのが一般的だと思います。

個人調査は、全看護職員が対象です。紙の調査票を配るのではなく、インターネットを介して回答してもらいます（どうしても紙の調査票のほうがよい場合は、ご相談にのります）。

Q8. ところで、ワークショップの参加費用は？

A. 無料です。

本気で取り組みたい施設のご参加をお待ちしています。